

## 齊藤一弥先生 通覧授業後の指導助言を受けて

先日の教科主任会では、齊藤一弥先生訪問時（5月12日）の授業通覧後にご指導・ご助言のあった点について共有を行いました。本日の校内研でも研究主任からお話がありましたが、教科主任には先にお伝えさせていただきました。大きくは次の4点です。（※まとめ：松本）

- 生徒が主体の能力ベースの授業に
- 生徒が自分たちの活動を押し進め、自己成長を実感させる授業に
- 同調圧力からの解放、個の学びの保証を
- 小学校での学びを再度確認

そのためには、  
問題解決型の  
授業に

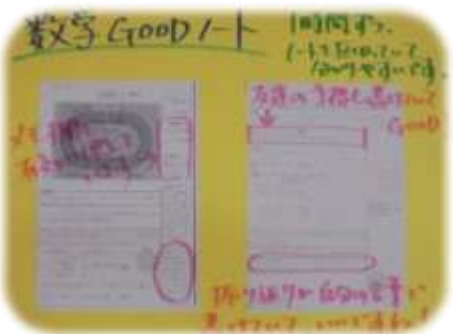
次の点は、齊藤先生のご指摘の中から、それぞれの教科主任が特に改善を図るべき点として挙げられたものです。

- ・ 生徒が目的意識を持ってやっているか、本当に考えたい問題か、という点について、教科会で検討していく。
- ・ 同調圧力からの解放（ホワイトボードを使っての班でのまとめは発言の強い子の意見になってしまう）。個の学びを保証する。
- ・ 内容ベースになりがちになる。単元を通して能力ベースの授業になるように改善を図る。
- ・ 1教師 対 1生徒（あるいは全体）の授業になっており、教師は都合のいい答えだけを取り上げている、という点について、生徒たちが主体の授業になるように改善を図る。
- ・ 本時では「どんなことができるようになったか」「良くなったか」や、知的向上を実感できる授業にする。
- ・ 小学校での学習内容やどのような見方・考え方を獲得しているかを再度確認し、授業を構想する。

本日の校内研でも、研究主任から最後に再度お伝えされたように、**個の学びが深まるように協働的な学びを工夫・設定**すること、**「問い」にこだわる**ことを今後の教科会でもお願いします。

## 自分の考えを表現する授業づくり・ノートづくり

ノート掲示を生徒は見て  
いるでしょうか？



各階のフロアには、各学年、各教科や自主学習のノートのコピーが掲示されています。「Good ノート」として、どんな点が良いか先生方からコメントが書かれています。生徒はそれを見ているのでしょうか。松本は3年生の女子2人が見ているのを見かけました。ノートのつくり方、学び方の教えにもなりますので、ぜひ、生徒への声かけをお願いします。

【各教科のコメントより】\*写真の教科以外のコメントも含む

- ・ 自分の考えと友達の考えが比較できています。
- ・ 1問ずつノートを区切っていてわかりやすいです。
- ・ メモ欄も有効に使っています。
- ・ 友達の予想も書けていて Good。
- ・ 振り返りが自分の言葉で書けていていいですね！
- ・ 産業割合の減少に着目し、その原因について考察することができています
- ・ 構成を考えたり、学んだことをつけたしたりしている。
- ・ 書きたかったけど、書けなかったことを質問している。
- ・ 後で見返してわかるノートづくりができています。

各教科共通して  
「自分の考えや友達の考えを書く」こと、「メモを取る」こと、考察や振り返りで「働かせた見方・考え方の良さ」について、コメントが書かれています。